

2018年度

自己点検・評価報告書

2019年3月

学校法人 文理学園



NBU 日本文理大学医療専門学校
NIPPON BUNRI UNIVERSITY
MEDICAL COLLEGE

臨床検査学科

目次

I	学校の現況	1
II	評価の基本方針	2
III	重点目標	2
IV	評価項目の達成及び取組状況	3
	1. 教育理念・教育目標	3
	2. 学校運営	4
	3. 教育活動	5
	4. 学修成果	6
	5. 学生支援	7
	6. 教育環境	8
	7. 学生の受入れ募集	9
	8. 財務	10
	9. 法令等の遵守	11
	10. 社会貢献・地域貢献	12
V	総合評価	13

I 学校の現況

(1) 施設の概要

学校名:学校法人 文理学園 日本文理大学医療専門学校

所在地:大分県大分市一木1727

施設長:校長 豊住 昭和

(2) 沿革

1995年(平成07年)学校法人文理学園 NBUメディカルカレッジ 開校 診療放射線科設置

2004年(平成16年)学校法人文理学園 日本文理大学医療専門学校 開校 診療放射線学科設置

2005年(平成17年)同校 臨床検査学科・臨床工学科設置

(3) 学科の構成

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜別
医療専門課程	診療放射線学科	3年	80名	240名	昼間
	臨床検査学科	3年	40名	120名	昼間
	臨床工学科	3年	40名	120名	昼間

(4) 学生数

学科名	1学年	2学年	3学年	全学年
診療放射線学科	64	63	85	212
臨床検査学科	36	38	29	103
臨床工学科	21	17	19	57

(5) 教職員数

	専任	非常勤
診療放射線学科	10	4
臨床検査学科	6	7
臨床工学科	7	8
職員数	23	19

II 評価の基本方針

- (1) 自己点検・自己評価を行うことにより教育研究活動の現状を把握し、諸機能を活性化させ、その教育水準の維持向上に努めることを目的とする。
- (2) 自己点検・自己評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施するものとする。
- (3) 判定基準
 - 4…適切 適切にされており、特に解決すべき課題はない
 - 3…ほぼ適切 現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
 - 2…やや不適切 状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
 - 1…不適切 早急に解決すべき課題である

III 重点目標

1. 学校の教育目標

- (1) 社会に必要とされる、保健・医療の担い手としての人的資質を養い、広く社会に貢献できる医療人を育成する。
- (2) 進化発展する、医療技術に対応するために、勉学に励み、日々研鑽を怠らない信頼される医療のスペシャリストを育成する。
- (3) 国家試験の全員合格を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 国家試験合格率100%を目指した教育の実践
- (2) 定員充足率100%を目指した学生募集の展開
- (3) 学生の就職活動の早期化および、施設の開拓

IV 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・教育目標

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4…適切
2	学校における職業教育の特色は何か	4…適切
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3…ほぼ適切
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3…ほぼ適切
5	学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3…ほぼ適切

① 課題
4 学校の理念・目的・育成人材像は確立されているが、保護者に対しては十分行き届いていないところも見受けられる。
② 今後の改善方策
4 保護者対象の個人面談会(学生状況報告)や後援会活動、学校関係者評価委員会を通して、継続的に周知と理解を求めていく。
③ 特記事項

2. 学校運営

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3…ほぼ適切
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3…ほぼ適切
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3…ほぼ適切
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4…適切
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3…ほぼ適切
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3…ほぼ適切
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3…ほぼ適切
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2…やや不適切

① 課題
8 情報システム(教務システム)を活用したPCネットワークでの運用を本格的に開始したが、部分的に使い慣れていないところが見受けられる。
② 今後の改善方策
8 完全PC運用を目指し、積極的に教務システムを活用し、業務負担を軽減する。
③ 特記事項

3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4…適切
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4…適切
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4…適切
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4…適切
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2…やや不適切
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4…適切
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4…適切
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4…適切
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3…ほぼ適切
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3…ほぼ適切
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3…ほぼ適切
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3…ほぼ適切
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3…ほぼ適切
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3…ほぼ適切

① 課題
5 関連団体等と連携した職業教育内容が、体験型のみで終わっている。
② 今後の改善方策
5 関連団体等と連携した職業教育が、一部体験型のみで完結しているため、より実践的な内容も考慮すべきと考える。 14 研修会への参加をより一層勧めていく。
③ 特記事項

4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4…適切
2	資格取得率の向上が図られているか	4…適切
3	退学率の低減が図られているか	3…ほぼ適切
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3…ほぼ適切
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4…適切

① 課題
3 退学者が一定数存在する。
② 今後の改善方策
3 退学者減少を目的に、担任との個人面談、担任から保護者への状況連絡を日常的に行っているが、授業アンケートをもとに、より一層の学習・生活面のサポートを強化する。
③ 特記事項

5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4…適切
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4…適切
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3…ほぼ適切
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4…適切
7	保護者と適切に連携しているか	4…適切
8	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4…適切

① 課題
② 今後の改善方策
5 課外活動の多くはボランティア活動であり、高齢者福祉施設でのお世話、日本赤十字活動、リレーフォーライフなど学生自身の自主的な参加によるものである。すべての企画に学校として支援を行っているが、全学生が経験できるよう機会を増やしていきたい。
③ 特記事項

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4…適切
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4…適切
3	防災に対する体制は整備されているか	4…適切

① 課題
② 今後の改善方策
③ 特記事項

7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生の募集活動は、適正に行われているか	4…適切
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4…適切
3	学納金は妥当なものとなっているか	4…適切

① 課題	
1	学生募集活動は教育制度の変化や高等学校教諭等の意見を参考に適切に実施しているが、募集定員に達していない。
② 今後の改善方策	
1	定員充足のため、より臨床検査技師の認知拡大に努める。
③ 特記事項	

8. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4…適切
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4…適切
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4…適切
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3…ほぼ適切

① 課題	
4	学園ホームページ(日本文理大学)にて公開されており、日本文理大学医療専門学校の公式ホームページでは掲載されていない。
② 今後の改善方策	
4	日本文理大学医療専門学校の公式ホームページにて公開する。
③ 特記事項	

9. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3…ほぼ適切
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3…ほぼ適切
4	自己評価結果を公表しているか	3…ほぼ適切

① 課題	
2 個人情報保護の観点から、パンフレットへの写真掲載に関して、掲示や口頭説明にて承諾を得たが、承諾書を使用していない。	
② 今後の改善方策	
2 2019年度入学生、在校生より承諾書を使用して同意を得るように変更する。	
③ 特記事項	

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4…適切
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4…適切
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4…適切

① 課題
② 今後の改善方策
③ 特記事項

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【学校評価の具体的な目標】

健全な学校運営、社会のニーズに沿った質の高い教育の提供を目標とし、その取り組み及び達成状況等について自己評価を実施するとともに、その結果を公表することとする。

また、より外部の方からの意見を取り入れ、学科での専門性を活かす。

【総合的な評価】

多数の評価項目において、評価が「適切」に到達しておらず改善の余地があり、次年度以降、改善方策に挙げた意見を踏まえ、各評価項目の評価改善を図る。

また、「評価」の改善策は、学科内で共通認識を持ち、チームとしての改善策への取り組みを行っていく必要がある。